

ダイバーシティの推進 障がいのある社員も活躍しています！

当社グループは、性別や国籍、障がいの有無などに問わず多様な人材を受け入れ広く活用することで事業の拡大・深化を図っています。

障がい者雇用についても、単に就業機会の提供にとどまらず、当社グループの企業価値拡大につながることを重要視しています。株式会社ぐるなびサポートアソシエは、障がい者雇用を促進するための特例子会社であり、まだ日本では就業機会の少ない精神障がいのある人も積極的に雇用しており、独自に開発した業務支援ツールを用いて、全社員がパソコン作業を行い、ぐるなびのサービスに直接関わる業務に携わっています。当期末時点で在籍する27名は、年齢層も20代から60代にわたり、障がいの種類も身体10名、精神13名、発達3名、高次脳1名と様々ですが、個々の能力を最大限に発揮しながら業務を遂行しています。

COMMENT

- 個々の能力に応じた仕事を任せてもらうことで、それぞれが工夫しながら積極的に仕事に取り組んでいます。また、社員がお互いの障がいを理解しあうことで、強みを活かし、弱みを補いながら、チームとして働けるようになりました。
- ぐるなびグループの一員として誰かのために貢献することの喜びと責任を強く感じています。仕事の質をもっと高められるように努力しています。
- 毎日の業務を通じて自分自身の成長を実感しています。今後もお客様やグループ各社の皆さんの信頼に応えられるよう、日々進化することを目指して過ごしていきます。

主な業務

- WEB監視業務:ぐるなびサイトに掲載されている文章や写真に不適切なものがないか、利用規約に基づき監視する業務
- 登録代行業務:ぐるなびサイトと連携するサービスの登録代行業務
- PDF化業務:契約書、申込書など紙の書類の電子化およびデータ入力業務



ぐるなびサポートアソシエの事業所の様子▶

PCを使用した業務が中心。作業の手順確認、一つの業務を複数人に配分・再統合するプログラムやPC入力補助システムの利用により、業務負担軽減、精度向上を図っている。

株主還元

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益配分を経営の重要課題として捉えており、企業価値の最大化を念頭に、健全な財務体質の維持および積極的な事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案しつつ、収益状況に応じた利益還元を実施することを基本方針としております。

配当金について

第29期	期末配当金22円 年間44円 配当性向 64.5%	第30期 予想	年間13円 【中間5円 期末8円】 配当性向67.6%

当社ホームページのご紹介

ホームページの「投資家情報」では、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しております。



URL <https://corporate.gnavi.co.jp/ir/>

ぐるなびIR

検索

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関および連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
URL <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(将来情報に関する注記)本報告書に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

IR Report 2018

GURUNAVI

第29期

2017.4.1-2018.3.31



世界に誇る日本の外食。
もっと日本中、世界中に知ってもらいたい。
そのことを、

証券コード:2440 株式会社 **ぐるなび**

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「日本の食文化を守り育てる」ことを企業使命とし、創業以来、ICTの力と1,000人のサポート体制の力を融合した独自の事業基盤により、国内外の消費者および食文化の担い手である飲食店をはじめとする事業者に対してサービスを提供しております。

飲食店を取り巻く経営環境は、人手不足の深刻化や人材・仕入れ関連費用の高騰、訪日外国人旅行者の増加、消費者の情報検索手段の多様化など、様々な変化が起きており、飲食店は限られた経営資源の中で消費者の多様なニーズに応えるための努力が求められています。

こうした飲食店の抱える課題の解決に向けて、当社では販促にとどまらない飲食店への支援領域拡大に取り組み、第29期においては会計や予約・顧客管理などの業務効率化を支援するサービスの提供を開始し、着実にその導入を進めたほか、外部の企業やサービスとの連携を通じ、国内外の幅広い消費者を飲食店へ

送客する仕組みを構築し、また人材の採用・育成、新規出店・撤退に関するサービス提供も開始しました。さらに全国の飲食店での成功事例や店舗運営の工夫など飲食店の現状に関する情報収集を強化し、当社独自のデータベースを構築しております。

上述の飲食店の経営環境変化の影響を受け、第29期の業績は減収減益となり、第30期においても減収減益を見込んでおりますが、1,000人のサポート体制が飲食店と真摯に向き合い、データベースの活用、外部企業・サービスとの連携などにより飲食店の課題解決や要望をかなえるサービスの拡充と提案を加速することで、早期に再成長の軌道に乗せてまいります。

今後とも外食産業の中長期的な発展に向けて全社一丸となり取り組むことで、当社企業価値の拡大に努めてまいります。株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

第29期の詳細な業績につきましては、こちらをご覧ください。
→IR資料室 <https://corporate.gnavi.co.jp/ir/library/>

ぐるなびIR資料室

検索

決算概要および第30期について

第29期実績	売上高362億円(前期比2.0%減)、営業利益47億円(同29.6%減)、1株当たり当期純利益68円27銭
第30期予想	売上高330億円(前期比8.9%減)、営業利益13億円(同72.6%減)、1株当たり当期純利益19円24銭

当社の事業戦略におけるインバウンドの位置づけ

外部環境

訪日外国人が増加
2017年実績 2,800万人超
▶2020年には4,000万人へ(政府目標)

和食がユネスコ無形文化遺産へ登録
▶海外からの和食の注目度UP

日本国内の人口減少
▶国内需要の縮小を補うために
インバウンド需要の取り込みが不可欠

観光立国を目指す日本にとって、“食”は重要な観光資源の一つ

成長市場であるインバウンドの需要を取り込むことで、外食産業の発展へ

ぐるなびの実績

外国人への情報発信から予約対応、来店時の受入対応まで飲食店のインバウンド対策をトータルサポート!

外国人へお店の魅力を発信/

外国人からの予約も安心/

来店した外国人をスムーズにおもてなし/

情報発信

- 海外での日本食イベントの開催
- 「ぐるなび外国語版」における海外旅行サイトとの連携
- ネイティブスタッフによるホームページ作成代行

予約対応

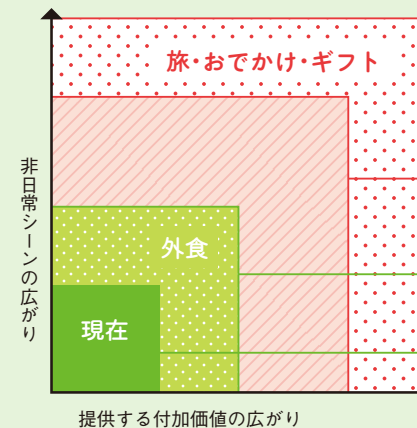
- 予約を取り次ぐ外国語コンシェルジュ

受入対応

- 「多言語メニュー作成システム」を提供
- ぐるなび大学によるインバウンド対策セミナー

中長期的成長実現に向けた
事業領域の広がり

新規事業
消費者向け有料会員サービスの拡大



提供する付加価値の広がり

当期の主な取り組み

新規事業

さらなる非日常領域の拡大

- LIVE JAPANの利便性および認知拡大
トリップアドバイザーのレビュー表示開始
- レッツエンジョイ東京のメディアパワー向上
記事型コンテンツを拡充

新規事業

食関連産業への業務支援

- 商品開発などのマーケティング支援を強化
ぐるなびデータライブラリの提供開始

飲食店支援事業

多角化支援&
業務支援

- eコマースサービスの強化
基盤システムを刷新
- 会計、予約受付などの店内業務効率化支援を開始
ぐるなびPOSレジ(ぐるなびPOS+)、ぐるなび台帳の提供開始
- 人材の採用・教育、店舗の新規開店・撤退に関する支援を開始

飲食店支援事業

販促支援の
強化

- 接待会食需要の取り込み支援を強化
ぐるなび法人予約サービスを開始
- インバウンド需要の取り込み支援を拡充
事前決済予約サービス開始、ぐるなび外国語版の進化
- 動画による飲食店情報の発信を本格化
ぐるなび動画の掲載開始

飲食店と密接な関係を構築している1,000人で構成される人的サポート体制

+ 他社との連携

着実に事業領域を拡大

訪日外国人へ充実した食体験を提供することはもとより、外食産業の活性化、当社の持続的成長へ

インバウンド需要の取り込み支援 ~当期の主な取り組み~ 外国人の利用を促進、飲食店への送客力を強化!

事前決済予約サービス 情報発信 + 予約対応



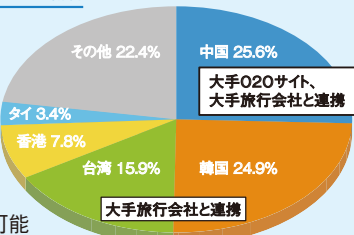
言語や文化の違いがあり、
注文から会計までやりとりが不安



無断キャンセルが心配

- ✓来店前に予約から決済まで済ませることで言語の違いによる不安を解消
- ✓事前に決済が完了しており、キャンセル料の課金もあるため無断キャンセルへの不安も軽減
- ✓海外サイトとの連携により外国人客の入り口を拡大、送客力向上
 - ・訪日外国人の多い、中国・韓国・台湾の大手サイトと連携
 - ・詳細な店舗情報を持つ当社だからこそ、外部サイトとの連携が可能

訪日外国人の割合



ぐるなび外国語版の進化 情報発信

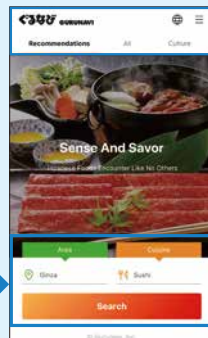


手間をかけずに
希望に合う
飲食店を探したい

お店の詳細な情報は
多言語で発信しているものの、
積極的に集客するツールがない



- ✓外国人が利用しやすい
シンプルな検索導線、
写真を多用したデザインに



- ✓ターゲットを明確に情報を
掲載できるようサイトを整理し、
商品化



MESSAGE

多様な決済手段によりインバウンド需要の取り込み、接客支援を強化 受入対応

世界各国で決済のキャッシュレス化の流れが加速する中、日本の飲食店においてもインバウンド需要の取り込みや外国人客へのスムーズな接客を実現するうえで多様な決済手段への対応は不可欠です。

そこで当社は今夏より、飲食店向けマルチ決済サービス「ぐるなびPay」を一新し、国内外の主要決済手段を網羅してまいります。はじめは、クレジットカード決済に加え、インバウンド市場において大きな存在感を示しており、今後も増加が見込まれる中国人旅行者への対応を強化すべく、中国の主要モバイル決済サービス「Alipay」と「WeChat Pay」を提供し、お店探しから決済まで、ワンストップでサポートすることで、より多くの飲食店へ需要取り込みの機会を創出してまいります。



上席執行役員 企画開発本部
企画部門副部門長*1
犬塚 祥敬
*14月1日現在



*2 順次対応予定

当社はこれまで他社に先行し飲食店のインバウンド対策について多方面より取り組んでまいりました。今後も引き続き「1,000人のサポート体制」によるサポート力と外部企業との積極的な連携により、より多くの訪日外国人に日本の食を体験してもらえよう、飲食店への支援拡充を加速してまいります。今後の当社の取り組みにご期待ください。